

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時における地域住民(自治会)との連携を強化していき、迅速に対応できるよう、具体的な避難方法を明確化していくことが必要である。	災害時における円滑な援護活動を行うため、消防署、地域住民(自治会)との協力体制を確保していく。	地域住民(自治会)との連絡を密にしていく。避難場所である近隣の中学校の避難訓練に参加していく。	12ヶ月
2			ご利用者様のレベルに応じた避難方法で迅速かつ明確に対応できるようになる。	防災マニュアル[ご利用者様の自立度、避難方法(徒歩・車椅子等)ごとに夜間を想定した場合は、援護者にご利用者様の状態が一目でわかるように、居室の表札を色分けするなど]を作成していき防災対策のなお一層の推進を図っていく。	12ヶ月
3			最悪の事態を想定した、必需品の内容及び備蓄品等を再検討していく。	地域支援も視野に入れた、必需品及び備蓄品等を十分なものとしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。